

第6章 計画の評価・見直し

1. 評価の時期

計画の見直しは、3年後の平成32年度に進捗確認のための中間評価を行う。

また、計画の最終年度の平成35年度においては、次の期の計画の策定を円滑に行うための準備も考慮に入れて評価を行う必要がある。

2. 評価方法・体制

保険者は、健診・医療情報を活用してPDCAサイクルに沿った効果的かつ効率的な保健事業の実施を図ることが求められており、保険者努力支援制度においても4つの指標での評価が求められている。

※評価における4つの指標

【図表46】

ストラクチャー (保健事業実施のための体制・システムを整えているか)	・事業の運営状況を定期的に管理できる体制を整備しているか。(予算等も含む) ・保健指導実施のための専門職の配置 ・KDB活用環境の確保
プロセス (保健事業の実施過程)	・保健指導等の手順・教材はそろっているか ・必要なデータは入手できているか。 ・スケジュールどおり行われているか。
アウトプット (保健事業の実施量)	・特定健診受診率、特定保健指導率 ・計画した保健事業を実施したか。 ・保健指導実施数、受診勧奨実施数など
アウトカム (成果)	・設定した目標に達することができたか (検査データの変化、医療費の変化、糖尿病等生活習慣病の有病者の変化、要介護率など)

具体的な評価方法は、国保データベース(KDB)システムに毎月、健診・医療・介護のデータが収載されるので、受診率、受療率、医療の動向等の把握は、保健指導に係る保健師・栄養士等が自身の地区担当の被保険者分について定期的に行う。

また、特定健診の国への実績報告後のデータを用いて、経年比較を行うとともに、個々の健診結果の改善度を評価する。特に直ちにに取り組むべき課題の解決としての重症化予防事業の実施状況は、毎年とりまとめ、国保連に設置している保健事業支援・評価委員会の指導・助言を受けるものとする。

3. 目標管理一覽

【図表 47】

関連計画	健康課題	達成すべき目的	課題を解決するための目標	元データ		初期値										中間評価値			最終評価値		現状値の把握方法
				H27 40.8%	H28 45.3%	H28 45.3%	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35								
特定健康診査等計画	医療削減のために特定健康診査率、特定保健指導実施率の向上により、重症化予防対象者を減らす	特定健康診査率60%以上	特定健康診査率60%以上	H27	H28	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	特定健康診査率 実施指導結果 (厚生労働省)							
				76.8%	77.1%	77.1%	77.1%	77.1%	77.1%	77.1%	77.1%	77.1%	77.1%		77.1%						
中長期	・入院医療費の割合が52.1%と高く同規模の1.2倍となっている。 ・脳血管疾患、虚血性心疾患にかかると医療費の割合が国や北海道より高い。	脳血管疾患、虚血性心疾患、糖尿病性腎症による透析医療費の伸びを抑制する	脳血管疾患の総医療費に占める割合0.2%減少 虚血性心疾患の総医療費に占める割合0.4%減少	H27	H28	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	KDBシステム							
				2.23%	2.04%	2.23%	2.23%	2.23%	2.23%	2.23%	2.23%	2.23%	2.23%		2.23%						
データヘルス計画	・メタボリックシンドローム該当者が多く、内臓脂肪を基準としたインスリン抵抗性による高血圧、高血糖、脂質異常などリスク管理が不十分である。 ・人工透析導入者のうち糖尿病性腎症によるものは66.7%を占めている。	メタボリックシンドローム該当者、予備群の減少率25% 糖尿病性腎症による透析導入者の割合の10%減少	メタボリックシンドローム該当者、予備群の減少率25% (160/100以上)	H28	H28	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	特定健康診査率 実施指導結果 (厚生労働省)							
				18.2%	18.2%	18.2%	18.2%	18.2%	18.2%	18.2%	18.2%	18.2%	18.2%								
短期	・がんによる、死亡率が国や同規模平均と比較して高い。	がんの早期発見、早期治療	がん検診受診率 胃がん検診40%以上 肺がん検診40%以上 大腸がん検診40%以上 子宮頸がん検診50%以上 乳がん検診50%以上	H27	H27	H27	H27	H27	H27	H27	H27	H27	H27	がん検診率 実施指導結果 （HbA1c6.5以上） 糖尿病未治療者を治療に結び付ける割合50%以上 糖尿病の保健指導を実施した割合100% がん検診受診率 胃がん検診40%以上 肺がん検診40%以上 大腸がん検診40%以上 子宮頸がん検診50%以上 乳がん検診50%以上							
				6.3%	6.3%	6.3%	6.3%	6.3%	6.3%	6.3%	6.3%	6.3%	6.3%		6.3%						
保険者努力支援細目	・数量シェアH28年度81.5%	自己の健康に関心を持つ住民が増える 後発医薬品の使用により、医療費の削減	継続ポイントの取り組みを行う実施者の割合70%以上 後発医薬品の使用割合85%以上	H28	H28	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	砂川市ふれあいセンター 厚生労働省公表結果							
				76人 110人	76人 110人	76人 110人	76人 110人	76人 110人	76人 110人	76人 110人	76人 110人	76人 110人	76人 110人		76人 110人						